

第21回滋賀県障害者技能競技大会

DTP 競技課題A

【課題設定趣旨】

印刷物は、もともと版下の作成や製版・印刷等いくつもある工程をそれぞれの専門家が手分けして行うことにより製作されていましたが、DTP (Desk Top Publishing) の普及はそのような囲いを打ち破り、幅広いプロセスが集約化される様になりました。

さらに現在では、制作者にはプランニングする力やクリエイションが求められ、メンテナンスやサブコピー、色彩やレイアウト、フォントの選別、印刷特性などオールマイティな知識が必要となっています。デジタル技術の進歩とともにより高度な創造性やオリジナリティが重視されています。この傾向は日本に限られたものではなく、国際的にも同様な傾向にあります。

このような観点から、DTPにおける基本的な技術とともに、企画力や創造力に主なポイントを置いた課題を設定し、審査における基準とします。

■ DTP競技課題

つぎの課題内容および条件に従い、与えられた課題データ（デスクトップ上に用意）を使用し、片面フライヤーを制作してください。

○ 競技時間

2時間（最終提出作品のプリント出力時間は含みません）

○ 課題

日本で最初に牛肉を食べられるようになったのが、近江の国だと言われています。神戸牛、松阪牛と並んで日本三大和牛と称される近江牛。

但馬産の黒毛和牛をルーツに持つ血統と、盆地特有の気候、豊富な水に恵まれた環境で育った近江牛は、プロの料理人から高い評価を得ています。

今回は、そんな近江牛を県外からの観光客に興味・関心を持ってもらえるようなチラシを作成してください。デザインスキルだけでなく情報を正しく、見やすくするレイアウトを心がけてください。

チラシの中に、滋賀県内の加盟飲食店で使える割引クーポンを付けて、飲食店の集客が見込めるチラシを作りましょう。

① 片面チラシの制作

近江牛を食することで、滋賀県の観光振興に貢献する店舗回遊を目的とした、店舗の割引クーポン付き（5000円以上のお食事10%引き）のチラシの制作

② タイトルの制作

タイトルは自由です。あなたが目を惹くと思うコピーを入れてください。

当日までに各自でデザインを考え、当日作成してチラシに反映してください。

● 画像の使用点数

写真関係（提供データは解像度200dpiです。）

競技当日に提供される写真素材の中から使用してください。写真素材の使用点数は1点に限ります。

写真の加工（ぼかしやドロップシャドウ、フィルター等）は自由です。

● 画像の処理

画像のトリミング、拡大・縮小は自由です。

画像データ解像度は200dpiです。原寸以上で使用する場合は画像が劣化することを考慮してください。意図的に低解像度の効果を表現する場合は効果的に使用してください。

画像処理効果（カラーバランス、フィルタ効果、変形等）表現上必要であれば使用してもかまいません。

●今回チラシに入れる団体名は「近江牛グルメ観光協議会」です。

● テキストデータ（非公開）を使用し、作品内に効果的に配置してください。囲み罫、配色、大きさ、書体などは自由です。

◆ 上記②で作成したタイトルを必ずフライヤーに使用してください。

◆ 仕上げ寸法＝A4サイズ（210mm×297mm）縦のみ。

◆ CMYKフルカラー片面

◆ フライヤー作品にはトンボを配置してください。裁ち落としは3mmとします。

■ 使用機器

- ・使用

OS Windows 10 Pro

- ・使用ソフト

Adobe 社Photoshop CC

Adobe 社Illustrator CC

Adobe 社Acrobat DC

■ 支給材料

- ・カラープリンタ用紙3枚（プリンタにセット済）
- ・A4サイズ下書き(ラフ)用紙3枚
- ・課題データ一式デスクトップ上のフォルダに配置
- ・作品保存用USBメモリ1個

提出データの形式高解像度PDF（フォーマットはPDF/X-1a: 2001）

■ テストプリンタ出力

作品制作途中において、仕上がりを確認するために、2回に限りテスト出力ができます。これらの出力を最終作品として提出しても構いません。

テスト出力は実施しなくても構いません。ただし、競技時間終了間際には混みあってテスト出力ができない場合もありますので注意してください。

出力データは：高解像度PDF文書（フォーマットはPDF/X-1a: 2001）としてプリントしてください。

■ 最終作品フォルダについて

仕上がった提出作品は、使用した画像データとともに最終作品フォルダに入れてください。ファイル名は「競技者番号」と「名前」にしてください。

■ 最終作品プリント出力（※競技時間終了後）

最終作品のプリンタ出力は競技時間終了後に実施します。出力の順番は競技委員の指示に従ってください。最終作品には、競技者番号、氏名を明記してください。

■ その他

サムネイルやレイアウトを考えるための、鉛筆、色鉛筆、定規、カラーマーカー、電卓の

持ち込みは自由です。

ただし事前に配布された課題、メモ、参考書、その他のデジタル記憶媒体の持込は一切できません。